



学校だより

学校教育目標

郷土を誇りに思い、未来社会を生き抜く児童生徒の育成

唐津市立加唐小中学校

第18号

令和3年12月24日発行

文責 校長 宮地 浩幸

2学期を振り返り

今学期もあっという間に過ぎ去ったような気がします。それでも振り返ってみれば、大きな行事として文化祭がありました。ワクチン接種の状況もあって、島民の皆様と一緒にできたことは昨年度に比べ1歩前進したことを感じます。また学校は、見違えるようにきれいになりました。育友会の皆様のご協力で、グラウンド整備や雑木の伐採が実行できたからです。学校環境が良くなったからと言って、学校教育の質が上がったとは言えませんが、学校環境の向上は子ども達への教育にいい影響を与えることは確信できます。例えば、雑木伐採により、避難経路の整備ができましたので安全確保に優位に寄与しました。

では子ども達の学力については、どうでしょう。学校の端的な目標は子ども達の学力向上にあります。極小規模校の強みを生かし、子ども達一人ひとりのニーズに合った教育を心掛け、先生方にも努力してもらいました。子ども達の毎日の授業の様子を窺っていると「成長した学びの姿」を認識できます。ただこれは、校長が希望的観測でそう感じているだけかもしれません。どうしても数字的なデータが欲しくなるところです。小学5年生と中学2年生は12月に県学習状況調査を行いました。この結果は1月に配布されますので、そこで相対的な評価はできると考えます。また小学1年～小学3年生までは1月にCRTテスト（標準学力検査）を実施します。これらにより、本校の子ども達の学びの1つの側面が相対的に示されます。そしてできている所とできていないところの分析が可能になりますので、それを基に3学期に本年度の教育活動のまとめを行っていかねばなりません。不安と期待が入り混じっていますが、結果は後ほどご連絡します。



小川小中学校の児童生徒来島

12月15日（水）に小川小中学校の児童生徒と先生方が本校にお出でになりました。離島間交流で、いつもはオンラインで交流をしていますが、毎年1度だけ互いに訪問をし、実際に会って交流活動を行います。

9時ごろ小川小中学校の児童生徒や先生方が加唐島に到着されてから、体育館で挨拶をした後、高島小学校との交流のように、両校の児童生徒がレクリエーションで楽しみました。子ども達は普段の倍以上の人数でのレクリエーションなので、本当に生き生き活動できていました。子ども達は本質的に大勢で遊ぶことがとても楽しいようです。その後、本校児童が加唐島、松島をクイズ形式で紹介し、武寧王記念碑及びオ



その後、本校児童が加唐島、松島をクイズ形式で紹介し、武寧王記念碑及びオ

ビヤ浦の見学を行いました。

令和3年もいよいよ終わります。

時間の過ぎるものはとても速いもので、今年もあと数日を残すのみとなりました。先日今年を表す漢字が「金」というのを見て、コロナ禍のオリンピック、パラリンピックでのアスリートたちの頑張りによって、日本中が勇気をもらったことを感じました。

校長は加唐小中学校に赴任して、2回目の年の瀬を迎えます。毎日子ども達に元気もらい勤務を行いました。子ども達は毎日有意義な学校生活を送っています。病気を理由に数日の欠席はありましたが、特に心配することもなく次の学年に向けて、3学期を迎えることとなります。子ども達が「加唐小中学校で学んでよかった。」保護者の皆様が「加唐小中学校で学ばせて良かった。」と思ってもらえるよう先生方は頑張っています。そして子ども達の成長を日々喜んでいます。子ども達の成長と共に私たちも教育の原点に立ち返り、毎日勉強させられている日々です。そういう気持ちで毎日を送っているために、時間が過ぎるのがとても速いのだと思います。



いよいよ、本年度を締めくくる3学期を残すのみとなりました。本年度は卒業をする子ども達がいなかったために、各自が進級への準備をしなければなりません。進級するに当たりまだできていないところを勉強やスポーツだけに限らず、心の成長や生活習慣の成長にもつなげて考え、努力して欲しいと思います。

健康に気を付けて有意義な冬休みを

今年の年末年始は例年になく気温が下がるという予報が出ています。子ども達は、活動的に生活しますので、あまり気にならないと思いますが、寒さにかまけて、不規則な生活リズムでは、健康を損ねる可能性があります。特に、朝布団から出るのがつらいことはよく起こる現象だと考えます。学校がある場合は、必然的に起きなければなりません。そうでない休業日は、ついついもう少しと甘えが出てしまいます。子ども達が1日のスケジュールをしっかり立てて、それに従うようにご家庭でもご支援ください。



そして長期休業中は、学習面での各自の課題を克服する時期でもあります。本日（12月24日）に子ども達は担任の先生から通知表を受け取りました。通知表は学校生活全般についての子どもの頑張りや成長を反映するものですが、その中には学習成績を示したものがあります。これにより、2学期によくできたところと少し頑張りや成長を要するところが判断できるはずですが、学習の基本は、できたところはさらに伸ばし、満足いかなかったところは、もう一度復習に励むことです。特に後者の方に力を入れて欲しいと思います。

従来、日本では年末に大掃除を行い年始に備えていたものです。お家の中の年末年始の行事が固定化されていた面はありますが、昨今は、テレビ番組が雰囲気を変える程度で、昔ほど年の移り変わりを感ぜなくなりました。しかし「1年の計は元旦にあり」と言います。元旦に1年間の目標や計画を立てた方がいいということです。学校の1年間は4月に始まり3月に終わりますが、年末年始は気持ちをしっかり切り替える環境が整った時期なのです。始業式の日子ども達の「今年は〇〇を頑張るぞ」という意気込みを期待します。

2学期も今日（12月24日）で終わりです。保護者の皆様、地域の皆様いろいろとご協力ありがとうございました。皆様にとって令和4年が良い年でありませうよう心よりお祈り申し上げます。